

1. 定期検査の実施状況

○実施主体

・大阪府及び政令市・中核市

○対象施設及び対象者

・高齢者入所施設・障がい者入所施設・救護施設の従事者
※グループホーム及び施設併設の通所サービスを含む。

○実施計画期間

・6月末まで実施

○実施頻度

・概ね2週間に1回の頻度で検査
※未実施や頻度の異なる政令市・中核市あり

◆定期検査の実績（2月～4月）

	延べ受検施設数	延べ受検件数	陽性者数	陽性率
政令市・中核市	3,489施設	144,788件	71人	0.04%
府保健所管内*	2,245施設	85,929件	65人	0.08%
大阪府全体	5,734施設	230,717件	136人	0.06%

* 府保健所管内対象施設の受検率：50.5%

陽性判明施設のクラスター発生状況
(政令市・中核市を除く4月の実績)

	施設数	人数
陽性判明数	43施設	49人
クラスター発生数	3施設	3人
クラスター発生率	7.0% (施設数より換算)	

- 定期検査により無症状病原体保有者の存在を把握することで、クラスター発生防止に一定の効果があったと判断できる。
- 一方、受検施設において、従事者以外(入居者)からの感染拡大等によりクラスターが発生したケースも数例あり。

2. 今後の方針

基本的対処方針の変更・国通知に伴う対応

積極的な受検への協力要請

- ・特措法第24条第9項に基づき、府内の対象施設に対し、受検要請文を发出
- ・府管の未受検対象施設に対し、継続して個別の受検勧奨を実施

対象の拡大(通所系事業所)

- ・通所系事業所にも拡大(政令市・中核市にも同様の要請)
- ・検査フローや検査方法等については現行内容で継続

<参考：府全体の施設数等>

対象施設	施設数	従事者数
入所施設等	約5,000施設	約11万人
通所系事業所	約7,500施設	約10万人

実施期間の延長

- ・7月以降も継続し(政令市・中核市にも同様の要請)、終期は高齢者に対する新型コロナワクチン接種の進捗等を踏まえ判断